

令和4年度 事業所協議会研修会開催概要

1 日時	令和5年2月13日(月)10:00~15:20
2 場所	熊本市障がい者福祉センター希望荘
3 内容	
(1)開会	
(2)講演:「夢の実現を目指して～暮らすと働くをどう整える～」	講師 株式会社PRCホールディングス 代表取締役 吉田 周生 様
(3)講話:「障害者総合支援法等の改正の概要」	講師 熊本県健康福祉部子ども・障がい福祉局 障がい者支援課 課長 米澤 祐介 様
(4)活動報告	報告1 WAKABA(玉名市) 施設長 谷口 建太 様 報告2 NPO法人山鹿ゆうあい園(山鹿市) 園長 田上 明利 様
(5)閉会	

<参加者>33人

【内訳】講師(2人)、事業所等(27人)、県育成会事務局(4人)

<アンケート結果> 提出人数(24人)

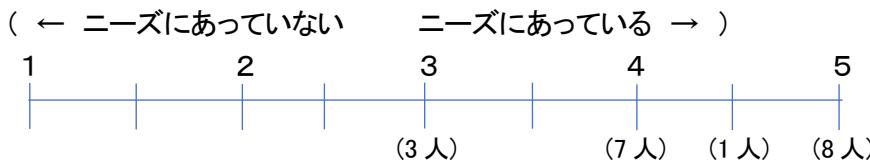
1 開催時期

- ① 今の時期でよい。(22人) ② 1月ごろ(1人)、10月ごろ(1人)

2 会場

- ① 今の会場でよい。(24人) ② 他に適当な会場(0)

3 研修内容



4 研修を受けての感想・意見(抜粋)

(1)講演「障がいのある人の人生設計を支えるグループホーム経営」

- ・様々なトラブルが起きることを想定すると、GH経営を躊躇していましたが、お話の中で様々なエピソードを紹介し、対応されているのを聞いて、「トラブル発生を恐れていては何もできない」と踏み出すきっかけになりました。
- ・親子で入所できるGH(法的に整備されたもの)はないのか。
- ・就労の継続には3つの安定が必要との言葉が非常に胸を打ちました。
- ・いつも吉田さんのお話は、利用者さんの気持ちを大切に夢の実現に向けて支援するという、基本であり難しくもある課題を再考する機会となり感謝します。職員がホームに住み込まれている件について、どのような労働時間で対応されているのでしょうか？ と同時に、4ホームでそのような職員配置がされることに驚きました。

(2)講話「障害者総合支援法等の改正の概要」

- ・法整備、制度設計の良さをまとめて聞けたので助かりました。私たちは制度に従うのではなく「制度を機能させていく経営」をすべきだと改めて感じました。
- ・令和6年度から良い法律に変わることを期待しています。就労と福祉事業所を併用ができるようになると、就労しても安心して仕事ができると思います。

- ・就労中の障害者が就労系サービスを併用できる期間ができるることは、彼らの就労への意欲を後押しできると嬉しく感じました。一方で、地域での一人暮らしを支える自立生活援助、地域定着支援については、現行の共同生活援助の報酬単価の低さから考えると人員的にも難しいと感じました。
- ・受給証の体験利用サービスでの手続きの間、3ヶ月間で利用される方、ホーム事業所の方も変わっていきます。見学をしてニーズに合うと感じたら利用できるといいと思っています

(3)活動報告

- ・事業展開へのバイタリティがすごい。大きな刺激になりました。
- ・ニーズに応じて新しい取り組みに挑戦されているのが印象的でした。熱さが伝わってきました。行動も伴っていてすごいと思いました。
- ・WAKABAさんのアイディアと行動力、とても刺激を受けました。ゆうあい園さんの「知つてもらうのが私の仕事」とおっしゃいましたが、それがどれだけ尊いお仕事か理解します。
- ・WAKABAさんの報告は、今どのようなことをされているのか、今後どのようなことを考えているのかを聞けてよかったです。ゆうあい園さんは、地域のいろんな方の力を借りて活動されていておもしろかったです。

(5)今後、研修したい研修について

- ・人材確保・育成(3)
- ・災害時において利用者の安全を守るために事業所はどう準備すればよいか
- ・GHの具体的な数値、金額など
- ・経営について
- ・職員交流など

(6)施設経営上の課題等について

- ・人手不足は本当に深刻です。・人材育成や人材確保について(4)
- ・人手不足により、利用者・保護者への配慮ができていない。職員一人一人の仕事量の過多。
- ・利用者の新規獲得に苦労している。既に利用している人は高齢化がすすみ、年々、介護施設へ移行している。
- ・物価が上がり給食の提供に少しずつ影響が出ています。物価高騰の対策は大きな課題です。

